

社会資本総合整備計画（全国防災）

平成 23 年 11 月 21 日 策定
平成 27 年 3 月 30 日 一部変更

計画の名称	1 北海道における河川津波対策の推進（復興基本方針関連（全国防災））																					
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	北海道															
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 道民の安全で安心な暮らしを確保するため、「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（平成16年4月2日法律第27号）」に基づき指定された地震防災対策推進地域（以下「特措法地域」という。）において事業実施中の河川のうち、津波遡上区間に堤防を有する河川について、河川津波対策を推進する。 食料供給力の強化に資するため、河川津波被害から農地、道路等の生産・流通基盤を守るための対策を推進する。 																					
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震により発生する津波が河川を遡上した際に、樋門からの逆流による浸水被害を軽減・防止するため、樋門の自動化をH23からH27の5年間で4基実施する。 																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震により発生する津波が河川を遡上した際に、樋門からの逆流による浸水被害を軽減・防止するため、樋門の自動化を実施する樋門数。 (参考)地震により発生する津波が河川を遡上した際、樋門からの逆流に伴う浸水被害の発生を軽減・防止するためには、樋門の確実な操作が必要となるが、短時間での津波到達が予想され、操作が困難な状況にあることから、自動化対策を実施し、逆流に伴う浸水被害の軽減・防止を図る。</td> <td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="3">備考</td> </tr> <tr> <td>当初現況値 (H23当初)</td> <td>中間目標値 (H25末)</td> <td>最終目標値 (H27末)</td> </tr> <tr> <td>0基</td> <td>—</td> <td>4基</td> </tr> </table>											日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震により発生する津波が河川を遡上した際に、樋門からの逆流による浸水被害を軽減・防止するため、樋門の自動化を実施する樋門数。 (参考)地震により発生する津波が河川を遡上した際、樋門からの逆流に伴う浸水被害の発生を軽減・防止するためには、樋門の確実な操作が必要となるが、短時間での津波到達が予想され、操作が困難な状況にあることから、自動化対策を実施し、逆流に伴う浸水被害の軽減・防止を図る。	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	0基	—	4基
日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震により発生する津波が河川を遡上した際に、樋門からの逆流による浸水被害を軽減・防止するため、樋門の自動化を実施する樋門数。 (参考)地震により発生する津波が河川を遡上した際、樋門からの逆流に伴う浸水被害の発生を軽減・防止するためには、樋門の確実な操作が必要となるが、短時間での津波到達が予想され、操作が困難な状況にあることから、自動化対策を実施し、逆流に伴う浸水被害の軽減・防止を図る。	定量的指標の現況値及び目標値			備考																		
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																			
	0基	—	4基																			
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,030 百万円	A	1,030 百万円	B	C	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$															
交付対象事業																						
A 河川事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考					
											H23	H24	H25	H26	H27							
A-1	河川	都市	北海道	直接	-	広域河川1	改修	釧路川広域河川改修事業	津波遡上解析	釧路市						65						
A-2	河川	一般	北海道	直接	-	広域河川2	改修	茶路川広域河川改修事業	樋門自動化(N=3基)	白糠町						340						
A-3	河川	一般	北海道	直接	-	広域河川2	改修	厚真川広域河川改修事業	樋門自動化(N=1基)	厚真町						385						
A-4	河川	一般	北海道	直接	-	広域河川2	改修	汐泊川広域河川改修事業	津波遡上解析	函館市						70						
A-5	河川	一般	北海道	直接	-	広域河川2	改修	久根別川広域河川改修事業	津波遡上解析	北斗市						70						
A-6	河川	一般	北海道	直接	-	広域河川2	改修	波恵川広域河川改修事業	津波遡上解析	日高町						100						
											小計（河川事業）					1,030						
											合計					1,030						
B 関連社会資本整備事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考						
										H23	H24	H25	H26	H27								
											合計											
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考										
C 効果促進事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考						
										H23	H24	H25	H26	H27								
											合計											
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考										

■社会資本総合整備計画(全国防災)

計画の名称					H27末 事後評価					
計画の成果目標 (定量的指標)	定量的指標の定義及び算定式	進捗状況 ※1		効果の発現状況	目標の実現状況					今後の方針
		うち着手済事業数 全体事業数	進捗度 ※2		単位	計画 実績	H23当初	目標値 実績値	達成度 ※3	
北海道における河川津波対策の推進					H27末 事後評価					
樋門の自動化	日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震により発生する津波が河川を遡上した際に、樋門からの逆流による浸水被害を軽減・防止するため、樋門の自動化を実施する樋門数	4 4	100%	別紙1	基	計画 実績	0	4 4	100%	

※1 進捗状況を表す事業数は、成果目標達成に資する対象要素事業数を示す。

※2 進捗度:計画終了時点での事業着手済箇所の進捗割合(事業着手済事業数 / 全体事業数)として示している。

※3 達成度:H27末目標値に対する達成割合を次の式で算出。

$$\text{達成度} = (\text{実績値} - \text{H23当初}) / (\text{目標値} - \text{H23当初})$$

北海道における河川津波対策の推進

浸水被害の軽減・防止

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震により発生する津波が河川を遡上した際に、樋門からの逆流による浸水被害を軽減・防止するため、樋門の閉扉を自動化した。

対策を講じた樋門数

計画：4基

実績：4基



厚真川（厚真町）

※厚真川、茶路川で4基の樋門の自動化を実施

対策前（手動による閉扉）



対策後（水位による自動閉扉）

